



1

28.11.271800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊 日々報告

第1778号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1 本文（要約）

- (1) 情 勢
- (2) 本日の活動成果
- (3) 明日の活動予定

2 別紙類（細部活動状況）

- (1) 本日の成果
活動概要
- (2) 明日の活動
 - ア 活動に及ぼす影響
 - (ア) 情 勢
 - (イ) 基盤上（兵站・衛生・人事）
 - (ウ) 総括（評価）
 - イ 活動命令
 - (ア) 施設活動等実施に関する行動命令
（方針・指導要領・各部隊の任務）
 - (イ) 視察・来隊予定
 - (ウ) 隊長・副隊長・CSMの行動予定

3 今後の予定

4 情報共有事項

5 参考資料

- (1) 気 象
- (2) 暫定政府樹立までの主要結節
- (3) 予想シナリオ（状況推移）と
日本隊に及ぼす影響
- (4) 部隊配置状況
- (5) タスク現況
- (6) 警備の態勢

1 本文（要約）

1 情 勢

(1) 全 域

ア 衝突解決合意関連

衝突解決合意は、キール大統領が9月30日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示しているものの、安保理においては衝突解決合意が進展していないという認識を示されていたところ、金曜日の定例閣僚会議において地域保護部隊の展開を承認した模様であり、細部の合意内容については明らかにされていないものの、制裁を避ける為に何らかの進展があるものと思料

一方、南スーダン国内外における両勢力からの離反に関する動きは停滞しているものの、マシャル第1副大統領派がキール政権に対する抵抗及びジュバ帰還への意思を示したことや、キール大統領がコンゴに所在する反主流派（マシャル派）戦闘員に対する恩赦を表明したことから、両勢力の動向には注視が必要

また、緊張状態が継続する北部へのオロニー中将の帰還の動きが見られるとともに、ユニティ州のベンティウ～リーアにかけて政府軍及び反主流派（タバン派）の部隊と反主流派（マシャル派）戦闘員との衝突が生起しており、注視が必要

イ その他の情報資料

ケニアがUNMISからの12月中の撤退を企図しており、歩兵部隊の再展開及び地域保護部隊への差出国の協議には時間を要するものと思料され、併せてUNMISのプレゼンスが減少することによるワウ及びジュバにおける治安状況の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での他部族への悪感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、新たなキール政権への抵抗を示す武装集団の台頭や西エクアトリアにおいて暫定政府に対する攻撃が活発化する等、その動向には注視が必要

- (2) ジュバ市外
 ジュバ郊外、特に、イエイ及びカジョケジでの政府軍と反主流派（マシヤル派）との緊張状態及びエクアトリアー帯での武装集団による襲撃事案は継続するとともに、ディンカ族と他部族との緊張状態も生起しており、部族間の対立の大規模な衝突への発展には注視が必要
 また、ロコン方向やイエイ方向への政府軍車両及び兵士の移動が継続しており、ジュバ南部及び西部の動向にも引き続き注視が必要な状態が継続
 加えて、郊外の経路上ではS O F A違反が継続しているが、U N M I S Sに対する攻撃や強盗は確認されておらず、そのプレゼンスの発揮は地域の治安の安定に有効であるものと思料
- (3) ジュバ市内
 市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間の集会等禁止令の下令や、政府軍宿舎に対する銃撃等、夜間の不安定な治安状態は継続しており、昼間の警備強化の兆候は確認されていないものの、今後の市内の状況の変化には注視が必要
 また、市内では、米国による安保理への制裁に関する提案に関連する、反U N、反米国デモ及びS O F A違反発生の可能性は否定できず注視が必要
 U Nハウス周辺では、非武装地域の設定後から発砲事案は減少傾向にあるものの、依然として昼間の発砲音を確認されるとともに、米国による安保理への制裁決議にキール大統領が含まれていないことに対するI D P内の不満が確認されており、U Nハウス周辺での小競合いへの巻き込まれには、注意が必要
- (4) 活動に及ぼす影響
 宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要
 また、ジュバ市内においてはハラスメント及び政府軍による検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要
 なお、U Nハウス周辺においては昼間における射撃やI D Pの不正なP O Cサイトへの侵入が確認されていることから、近傍での活動には警戒が必要
 マラム採掘場周辺においては、U N M I S S部隊や地元民が通常通りの活動を実施しているものの、引き続き注視が必要
 ジュバ～マンガラ間は、特段の治安事象も確認されずN G Oが経路沿いで作業を実施する等、安定している模様

2 本日の活動成果

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、UNトンピン地区退避壕構築を実施する。

また、各種整備を実施し、装備品等の可動率の維持・向上を図る。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区内における給水活動（成果：10t）

イ 人道支援実施のための環境作り等

UNトンピン内退避壕構築

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区内における退避壕構築（養生）

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

a 隊本部をもって、ジュバ市内における経路偵察

b 情報班をもって、ジュバ市内における情報収集活動

(イ) 業務調整

隊本部等をもって、UNトンピン地区内における業務調整

(ウ) 宿営地内活動

a 本部付隊をもって、宿営地管理業務

b 各部隊毎、宿営地内における施設、車両、器材等整備

- (I) 教育訓練等
各部隊毎、UNトンピン地区内及びジュバ市内における車両操縦練成
- (オ) 民生協力
な し
- (カ) 会計幹部及び通訳をもって、ウガンダにおける会計業務
- エ 表敬等
隊長以下による、日本隊宿営地における工兵課等との謝恩会
- オ 各種行事等
物品管理検査受検
- カ 国際機関等連携案件
な し

3 明日の活動予定

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNハウス地区及びUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、UNハウス地区西側外壁構築、弾薬庫内ヘスコ補修及びUNトンピン地区内退避壕構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区内及びUNハウス地区内における給水活動

イ 人道支援実施のための環境作り等

(ア) UNハウス地区西側外壁構築

第2施設小隊をもって、UNハウス地区における西側外壁構築

(イ) UNハウス地区弾薬庫内ヘスコ補修

第3施設小隊をもって、UNハウス地区弾薬庫内におけるヘスコ補修

(ウ) UNトンピン内退避壕構築

施設器材小隊及び第1施設小隊をもって、UNトンピン地区における退避壕構築

(I) マラム運搬

施設器材小隊等をもって、ジュバ市内におけるマラム運搬

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

- a 隊本部をもって、ジュバ市内及び[REDACTED]における経路偵察
- b 情報班をもって、ジュバ市内における情報収集活動

(イ) 業務調整

- 隊本部等をもって、UNトンピン地区内、UNハウス地区内及びジュバ市内における業務調整

(ウ) 宿営地内活動

- 本部付隊をもって、宿営地管理業務

(エ) 教育訓練等

なし

(オ) 民生協力

なし

(カ) 隊本部をもって、UNトンピン地区内におけるSSMBへの参加

(キ) 隊本部をもって、UNトンピン地区内における業者対応

(ク) 警務班をもって、ジュバ市内における重車両輸送支援

(ケ) 隊本部をもって、ジュバ市内における現地調達業務

(コ) 隊本部をもって、ジュバ空港及びジュバ市内における空港撮影の事前申請

(サ) 各部隊ごと、活動地域における第11次要員への引継ぎ業務

(シ) 隊本部をもって、ジュバ市内CCC孤児院における慰問品輸送業務

(ス) 隊本部等をもって、UNトンピン地区内MOVCONにおける武器等空輸端末地業務

(セ) 隊本部等をもって、UNトンピン地区内における車両操縦練成

(ソ) 会計幹部及び通訳をもって、ウガンダにおける会計業務

エ 表敬等

(ア) 隊長及び第11次隊長による、UNトンピン地区におけるセクターサウス司令官表敬

(イ) 隊長及び第11次隊長による、UNトンピン地区における工兵課長表敬

オ 各種行事等

なし

カ 国際機関等連携案件

なし

1 本日の成果

別紙第1「活動概要」
別紙第2「活動成果」

活動概要（UNトンピン地区）（1／6）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						#10	#11		#10	#11
①	施設	UNトンピン地区退避壕構築	器材小隊	0800～ 1630	UNトンピン内	6		大型×1、油圧×1 散水車×1		
②	その他	給 水	補給班	0800～ 1200	トランジット エチオピア歩兵 大隊 ネパール歩兵中隊	2		給水車×1		
③	その他	車両操縦練成	隊本部 (S-1)	0800～ 1200	UNトンピン内	1	1	ランクル×1		
④		武器等空輸調整会議	隊本部 (S-4)	0900～ 1630	MOVCON	3	2	小型×1		

凡例



UNタスク

活動概要（UNトンピン地区）（2／6）



車両操縦練成

活動概要（UNハウス）（3／5）

UNハウス活動部隊なし

活動概要（ジュバ市内）（4／5）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						#10	#11		#10	#11
①	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内					
②		情報収集	情報班		ジュバ市内					
③	その他	車両操縦練成	警備小隊	0800～ 1200	ジュバ市内					
④		車両操縦練成	隊本部 (広報)	0900～ 1600	ジュバ市内					

活動概要（ジュバ市内）（5／5）



本日の活動成果

UNトンピン地区退避壕構築

活動中
施設器材小隊

【11.27 0900現在】



活動中
施設器材小隊

【11.27 1100現在】



活動成果

進度
累計



退避壕 工区RC養生

2 明日の活動

- (1) 活動に及ぼす影響
 - 別紙第3 「情 勢」
 - 別紙第4 「装備品等現況」
 - 別紙第5 「患者受診状況」
 - 別紙第6 「人員現況」
 - 別紙第7 「総括（評価）」
- (2) 活動命令
 - 別紙第8 「施設活動等実施に関する行動命令」
 - 別紙第9 「視察・来隊予定」
 - 別紙第10 「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

情 勢 (1 / 8) / Situation

17

別紙第3-1

凡例 青字：新規
赤字：評価

1 南スーダン全域の情勢

(1) 衝突解決合意履行に関する情報
新規事象等なし

(2) 衝突解決合意不履行に関する情報

1

(3) その他入手した主要な情報資料

2

情 勢 (2 / 8) / Situation

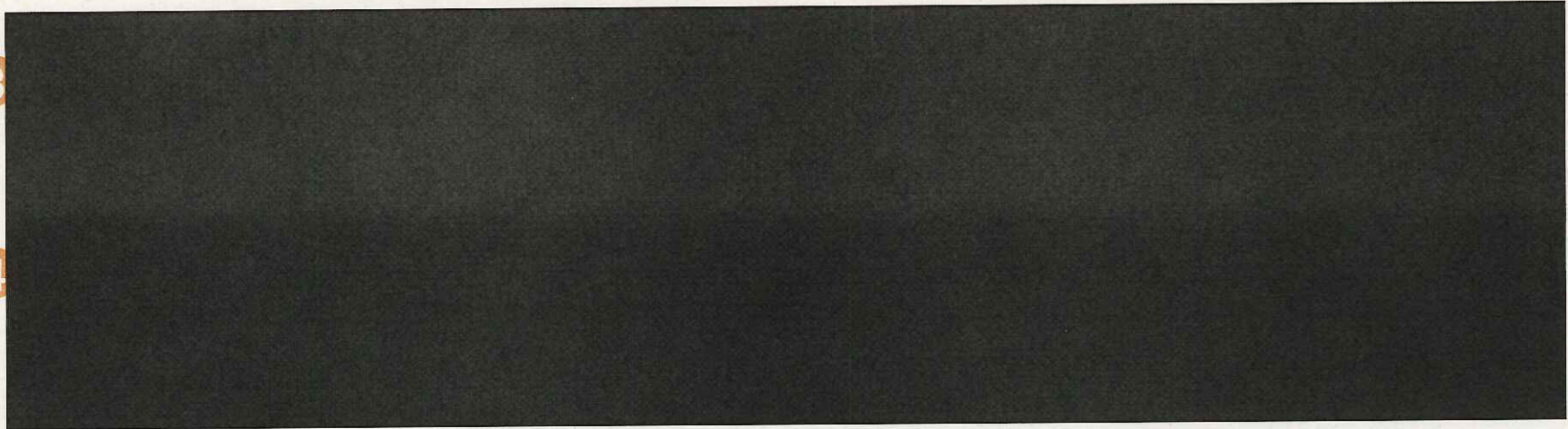
18

別紙第 3 - 2

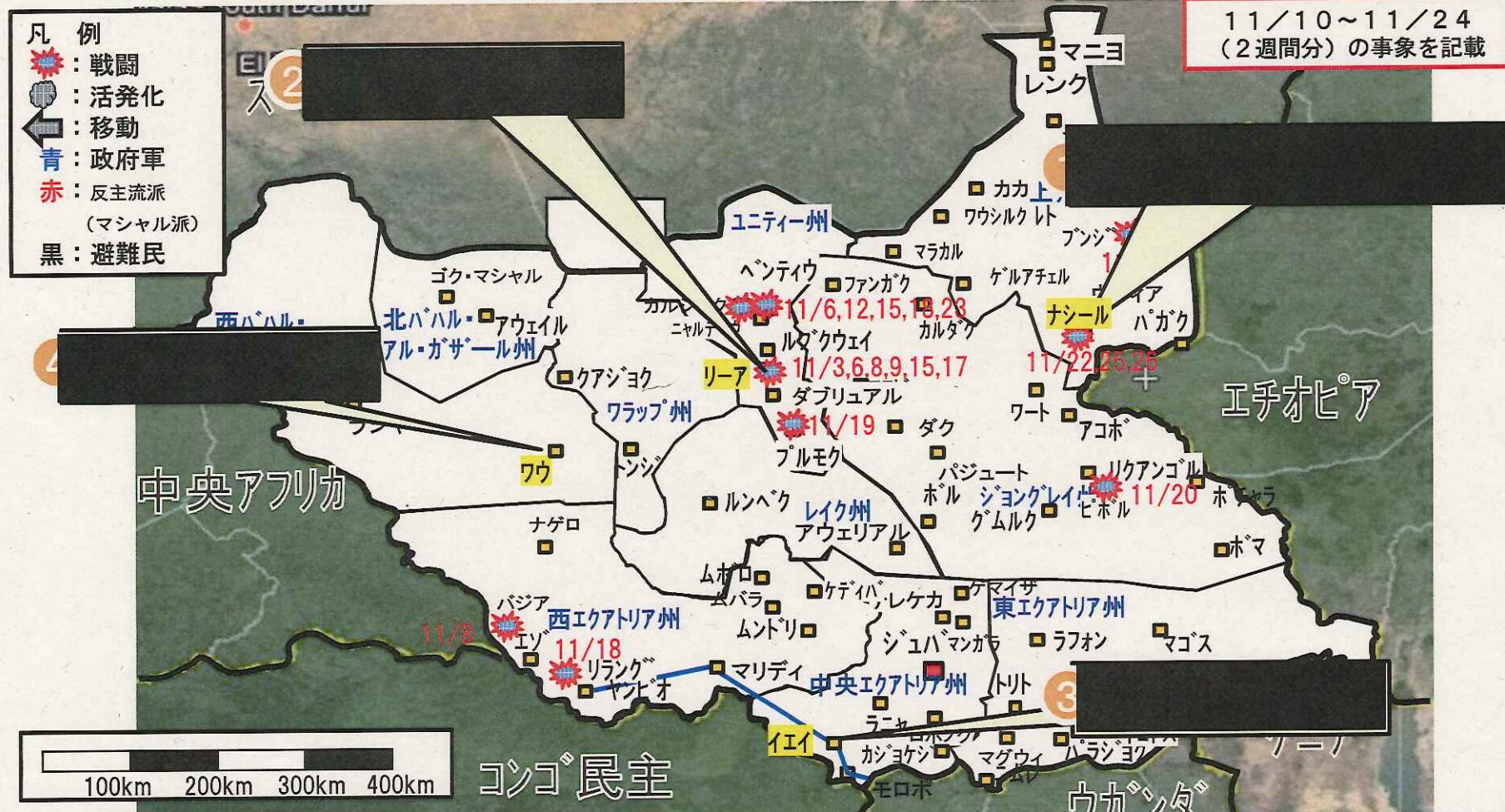
凡例 青字：新規
赤字：評価

3

4

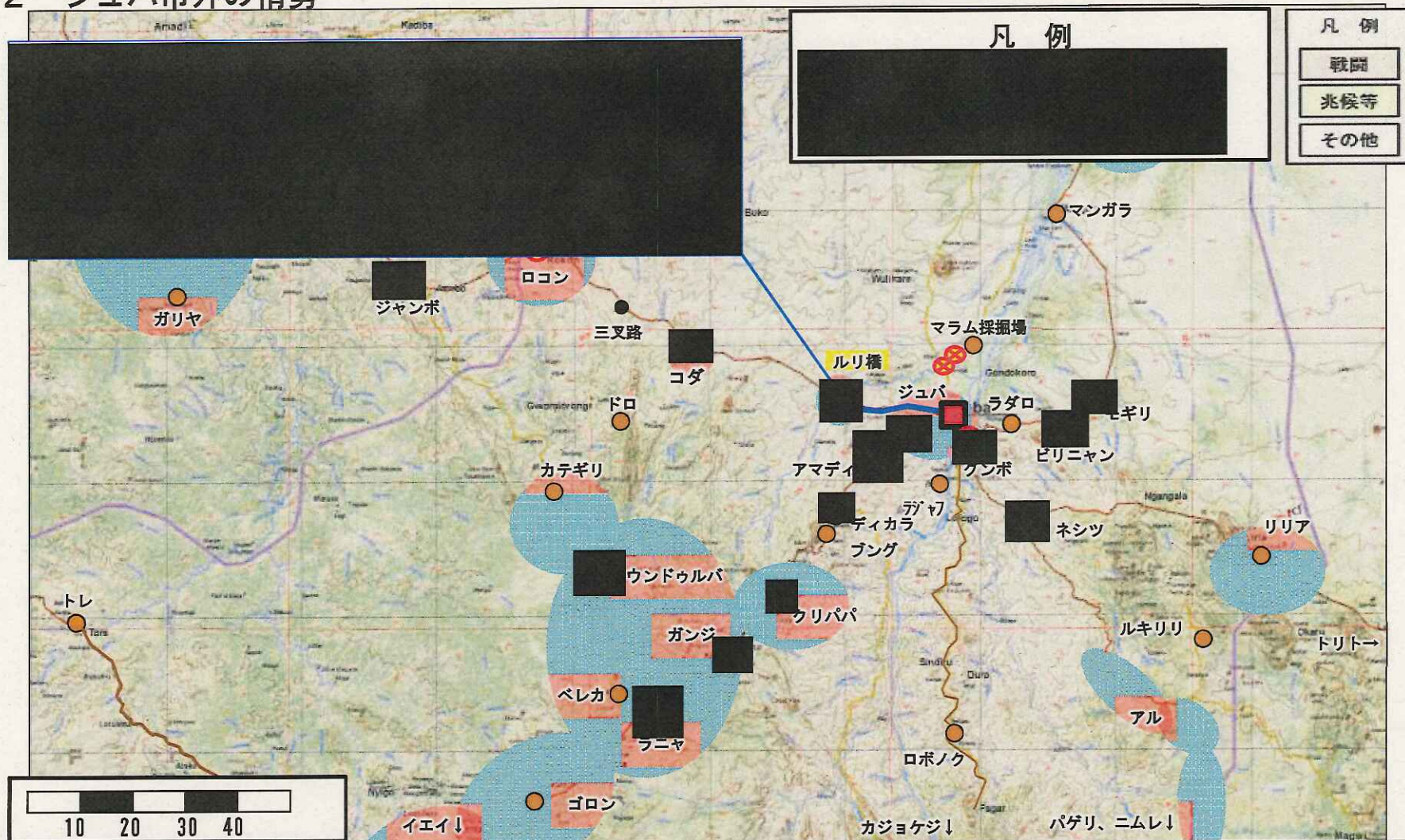


情 勢 (3 / 8) / Situation



評 価	衝突 解決 合意	南スーダン政府は、安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意しているものの、政府高官での相反する発言も確認されており、安保理協議の動向及びケニア撤退の影響には注視が必要 北部において、政府軍と反主流派(タバン派)の連合軍と反主流派(マシヤル派)との衝突が継続しており、マシヤル氏のキール政権打倒のための武力抵抗に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、東、西エクアトリア地域では武装集団による襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の 事象	乾季への移行に伴うものと思料される牛の移動等が確認されており、今後、各地での部族間対立発生の可能性は否定できず、注視が必要

2 ジュバ市外の情勢

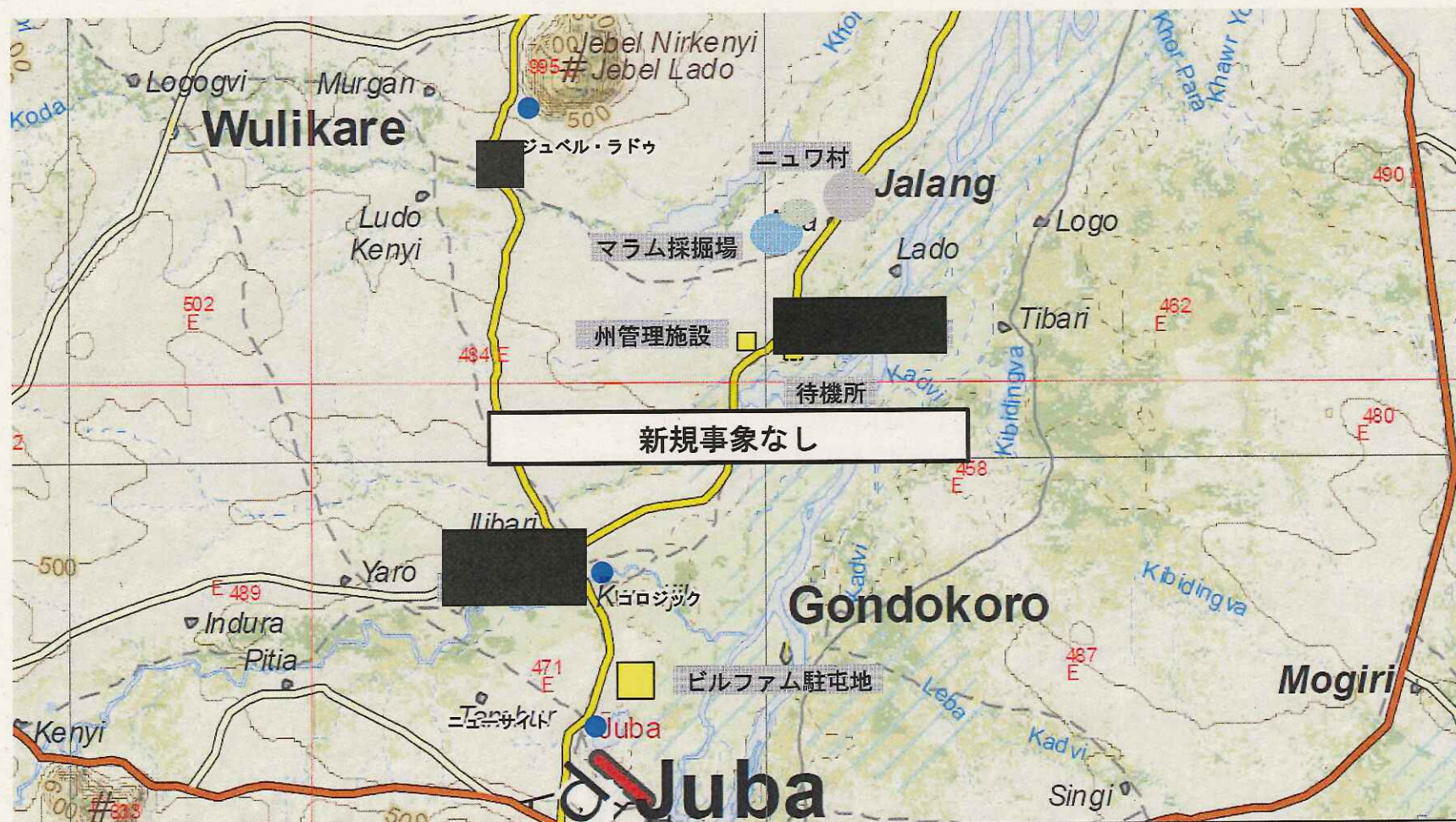


評 価

郊外における状況は未だ不透明であり、射撃事案、道路沿いで政府軍に対する反主流派(マシヤル派)による伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

情 勢 (5 / 8) / Situation

21
別紙第 3 - 5



評 価

地域住民、特にムンダリ族（銃を携行する牛飼）と政府軍との間または牛飼同士の間で銃撃を含む衝突（政府軍によるムンダリ族への報復）が発生する可能性もあり、移動間の衝突への巻き込まれ及び流れ弾には警戒が必要
また、食糧確保のために、ビルファムロード沿いに北上する牛飼等の所有する家畜への衝突にも併せて注意が必要

3 ジュバ市内の状況

- 27日0110頃、ムヌキ地区において射撃音7発確認

(27日 警衛隊)

→ 警告射撃を含む、夜間の射撃発生時、流れ弾には引き続き、注意が必要

- 27日1240頃、クラウンホテル*周辺において3発射撃音が確認された模様

同日1300頃の周囲のクラウンホテル周辺は落ち着いている模様

同時刻帯における、ビルファムロードでの政府軍車両の移動の増加等は確認されていない。

※ 反主流派(タバン派)高官が宿泊しているとされているホテル

(27日 施設隊)

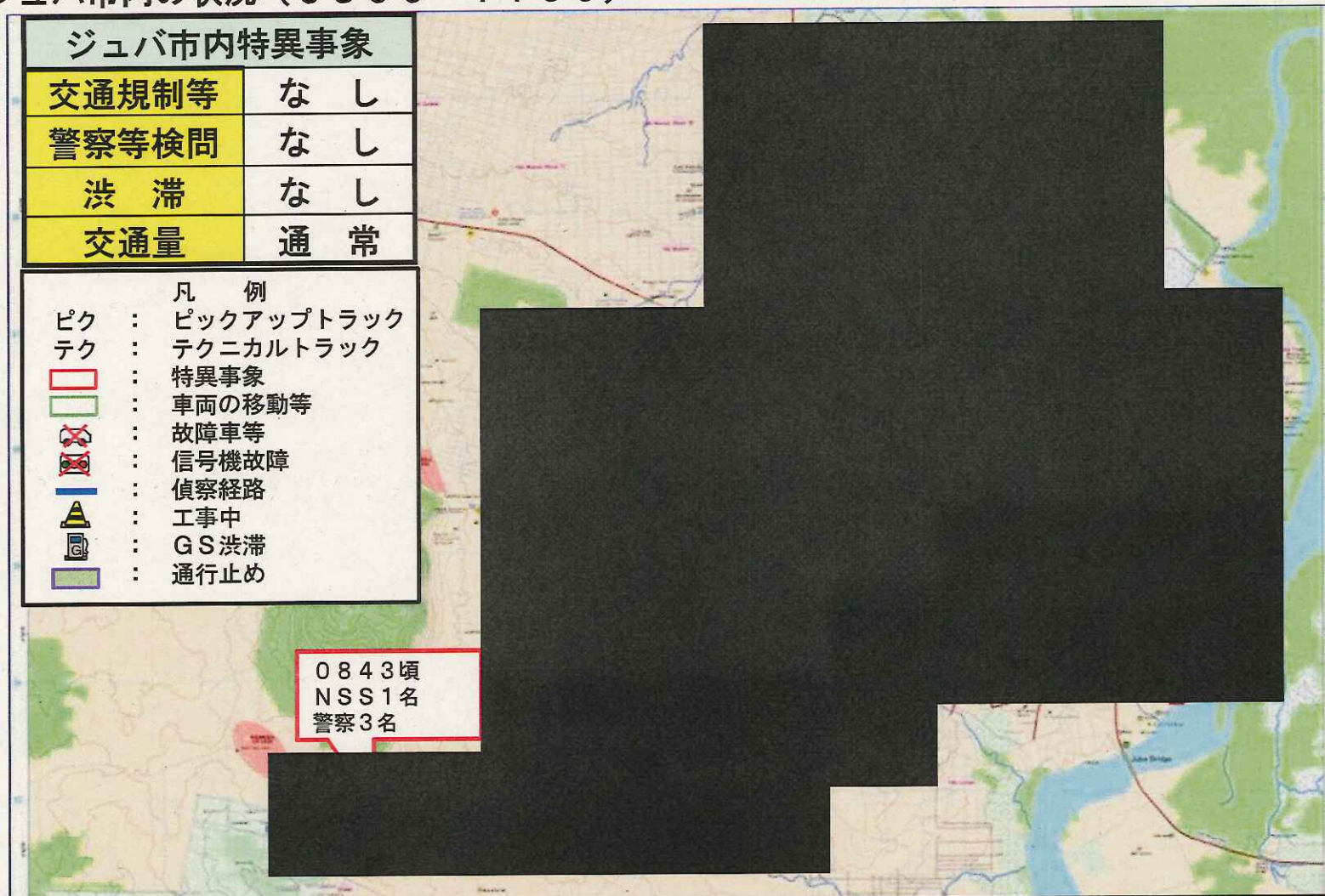
→ 一般犯罪の類と史料されるも、高官居住区に近いため、今後周囲の警戒レベルが高まる可能性もあり、通行の際には注意が必要



評 価

ジュバ市内は、日中は一定の安定を取り戻しているものの、夜間の射撃事案の増加、政府軍兵舎に対する銃撃、11月下旬以降のゲアレ及びイエ道正面への政府軍の移動の増加が確認されており、引き続き注視が必要。また、UNハウス周辺では、WFZ設定以降に射撃は減少しているものの、昼間における射撃音は引き続き確認されており、IDPとのUN職員との小競合いも発生していることから、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要

5 ジュバ市内の状況 (0 8 0 0 ~ 1 1 0 0)



評 価

市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。
交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情 勢 (8 / 8) / Situation

24

別紙第3-8

4 気 象 (0600i)

地 域	天 気	気 温		湿 度		降水量	備 考
		最 低	最 高	最 低	最 高		
ジュバ	晴れ	23℃	47℃	25%	64%	0mm	
カンパラ	晴れ一時雨	16℃	31℃	16%	98%	16mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

25
別紙第4-1

11月27日1800c

区 分	可 動 率	状 況	処 置
火 器	100% ■■■■■	な し	
車 両	99% ■■■■■	高機動車×1 右Rショックアブソーバ折損	部品請求実施 →■■■■■
施 設	100% ■■■■■	な し	
通 信	100% ■■■■■	な し	
需 品	100% ■■■■■	な し	
衛 生	100% ■■■■■	な し	
その他		150KVA発電機×1 (逆浸透浄水装置用) オルタネータ不良	部品請求実施 →■■■■■

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

26

別紙第4-2

11月27日1800c

区 分		品 名	総 数	取 得	返 納	保 管
弾 薬	B L	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	T R	9mm普通弾				
		5. 5 6 mm普通弾				
		5. 5 6 mmリンク				
	計					
打ち殻		9mm打がら薬きょう				
		5. 5 6 mm打がら薬きょう				
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

27
別紙第4-3

喫食者数：422名（第10次要員295名、第11次要員129名、出張2名）11月27日1800c

区 分	品 名		取 得	消 費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型					
		市販型					
		アルファ米					
		UN非常用糧食					
	耐 久 品	米					
		副食パック					
	UN食材	生 鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生 鮮					
		冷 凍					
そ の 他	加熱剤						
燃 料	COE	UN軽油(発電機)					
	NOE	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン(調達品)					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

第10種補給品（水）の推移（1週間実績）

28

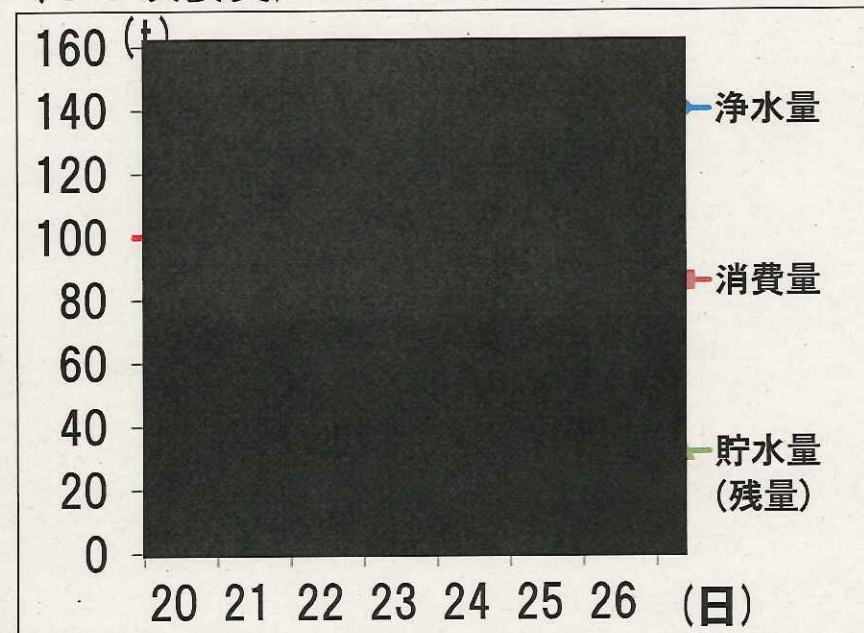
別紙第4-4

11月27日1300c

【H28.11】（10次要員）

凡例 — 消費量の目安ライン

曜	日	浄水量	消費量	貯水量 (残量)
日	20			
月	21			
火	22			
水	23			
木	24			
金	25			
土	26			



他国供給先（前日実績）	供給量
UNハウス	
トランジット	4
ネパールFPU	
ネパール歩兵中隊	
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	
インド隊	2
合 計	6

【評 価】

○第4井戸

→取水量は安定傾向を保っているが、砂の埋没等による再故障を未然防止するため、定期的な水深等の調査を実施

○第5井戸（工事期間：10月20日から11月下旬）

→水質等検査の結果、水質・水量及び土質が長期使用には適さないと判断したため、近傍地域の別の場所に再掘削を実施（11月17～21日掘削完了、28日～配管作業実施予定）

○11次要員先発到着に伴う人員増加

→浄水量・消費量の増加量を踏まえた適切な生活用水使用統制及び各隊員の更なる節水意識の高揚

患者受診状況

受診患者計 4 名

11月26日1800c
~11月27日1800c

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
隊本部	1 名		
第1施設小隊	1 名		
警備小隊	1 名		
警務班	1 名		

凡例： (再) → 再 診

人員現況／Personnel Status

11月27日1800c

	場 所	総員 (名)	事故 (名)	現在員 (名)	事故の内訳 (名)	備 考
第10次要員	ジュバ (UNトンピン)	295	2	293	ウガンダ出張2名 (会計幹部 通訳班長)	
第11次要員		129		129		
来隊者		3		3		○ CRF 後方補給部 長以下、3名
計		427	2	425		

宿営地待機人員

区 分	人員数
待機人員	

凡例 赤字：強調 青字：不在者

活動の分析及び評価

31
別紙第7-1

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	宿营地	流れ弾	11/14, 15, 16, 17, 20, 22, 24, 25, 27 近傍での射撃（特に夜間）
	UNトンピン	反UNデモ	9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 11/18 安保理声明、武器禁輸に言及なし 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし
	UNハウス	反UNデモ	9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 11/18 安保理声明、武器禁輸に言及なし 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対
		IDP等の流入又は侵入	
		流れ弾	
			10/4~ WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）パトロール
	#1POCサイト	IDPとの小競合い（マシヤル派、タバン派）への巻き込まれ	
	#3POCサイト	IDPデモ	
		IDPとの小競合い（マシヤル派、タバン派）	9/17 政府軍のPOCサイトへの侵入
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置

活動の分析及び評価

32
別紙第7-3

項 目		兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体がRPF展開へ反対 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/28 イリサア首相来南ス来訪 10/28-11/5 AU安全保障会議開催 11/15 安保理協議 11/17 安保理制裁協議 11/17, 18 クワンパルでJMEC会議 11/19 SPLMハウスでレッドアーミー集会（大統領参加予定） 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対 11/22 JMEC全体会合 11/25 定例閣僚会議でRPFの受入承認
		反UNデモ	8/30 高官ゲートでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 11/4 ケニアの撤退への反対を政府が表明 11/18 安保理声明、武器禁輸に言及なし 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対
		流れ弾	11/2, 3, 4, 5, 6, 12, 14, 15, 27 ジュバ市内における射撃 11/25 政府軍に対する銃撃
		盗 難	

活動の分析及び評価

33
別紙第7-2

項 目			兆候上	発生する公算
情 勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	衝突への巻き込まれ	10/13 政府軍の検問所は 存在	
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪 10/26 ジュバ - マンガラ間の治安部隊の配置 11/2, 8, 14 ジュバ - トリト道沿いの民間車両襲撃 11月初旬 イイからのIDPのビリヤンへの移送 11/14 ジュバ - マンガラ道沿いで政府軍及び民間車両に対する襲撃	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	衝突への巻き込まれ	10/14 コダでの政府軍と反主流派の衝突 10/30, 12, 24 反主流派のムトリ近郊での活動	
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	11/5 ジュバ 郊外東部グレイで民間人による銃の乱射	
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	衝突への巻き込まれ	10/26, 27, 11/1, 2 マラム採掘場の情勢は平穏 10/29, 30 近傍住民との小競合い 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	
		ハラスメント	11月 検問を異状なく通過 11/1-2 外国高官の来訪 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音 11/3, 4 検問に所在するSPLA兵士の感情良好 11/18 武器禁輸及び個人制裁に対する反対	
		犯罪への巻き込まれ	11/8 牛飼いは乾季に伴い北へ移動し、やや減少 10/27 部族間の感情は良好 11/2 ビルファム駐屯地南で約30発の射撃音	

活動の分析及び評価

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾		
UNトンピン活動	反UNデモ		
	流れ弾		
UNハウス活動	反UNデモ		
	IDPの流入		
	流れ弾		
#1POCサイト	IDPとの小競合いへの巻き込まれ		
#3POCサイト	IDPデモ		
	IDPとの小競り合い IDP内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の 活動及び通行	ハラスメント及び巻き込ま れ		
	反UNデモ		
	流れ弾		
	盗 難		

活動の分析及び評価

36

別紙第7-6

活 動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	衝突への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	衝突への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	衝突への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、**ジュバ西部及び南部の戦闘には注視**が必要。また、郊外の主要道路沿いでディンカ族や移動中の政府軍を狙った襲撃、その報復と見られるエクアトリアン等に対する襲撃、政府軍兵士による反主流派と見做された民間人に対する暴行と報復が発生しており事態の拡大には注視が必要。加えて、ムンドリ近郊における治安が不安定化している傾向にあり、UNMISS車両が問題なく通行しているものの、**道路沿いの政府軍車両に対する伏撃等への巻き込まれ及び衝突の東側への波及には注意が必要**

ジュバ～マンガラ間は、UNMISS車両に対する直接的な脅威は確認されていないものの、政府軍によるムルレ族武装集団に対する掃討作戦が実施されていることから、**流れ弾及び検問所近傍における衝突への巻き込まれには注意が必要**

マラム採掘場に至る経路沿いでは、UNMISS車両の通行に対する直接的な脅威は確認されていないものの、**犯罪への巻き込まれには注意が必要**

UNハウス周辺では、WFZの設定以降射撃は減少傾向にあるものの、**昼間の発砲音が確認されていることから、流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い**。加えて、POCサイトへ禁止物品を持ち込もうとするIDPとUNPOL等との間で小競合いが発生するとともに、**安保理制裁に関するIDPによるデモも確認されていることから、巻き込まれには注意が必要**

ジュバ市内においては、昼間は一定の治安の回復が見られるものの、**夕方以降（暗くなる時間帯）は銃犯罪を含む犯罪が確認されており、夜間の政府軍兵舎に対する銃撃に関する情報も入手されていることから、検問、兵士の増加、警戒の程度等の市内の状況の変化には注意が必要**

加えて、ケニア軍の撤退に関して国際社会、暫定政府及び反主流派（マシャル派）は、ケニア軍の引き続きの駐屯を望んでいる事や、**安保理で制裁に関する採択なされる前に、地域保護部隊の受入を承認したことから、市民によるデモの可能性も含めて引き続き注視が必要**

評 価 (総括)	・ 宿営地内及びUNトンピン内活動は、大きく影響なし ・ ジュバ市内の移動・活動は地域保護部隊の受け入れを承認したものの、検問によるハラスメントの可能性は否定できず、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察、市内状況、移動時間、予備経路の指定など処置が必要である。また、移動間の盗難に注意が必要である。マラム運搬については情勢の確認のほか、事前のMLO等との調整、CPによる治安状況、ハラスメントの兆候の把握が必要である。 ・ UNハウスにおける活動は、UNハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びIDPによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、車両による防護準備が必要 また、ジュバ西部及び南部の衝突の状況及びUNハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要						
処置・対策	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="465 719 831 858">IDPとの小競合い</td><td data-bbox="831 719 2004 1436" rowspan="5"></td></tr> <tr> <td data-bbox="465 858 831 1029">流れ弾対処</td></tr> <tr> <td data-bbox="465 1029 831 1129">移動間における盗難</td></tr> <tr> <td data-bbox="465 1129 831 1209">SPLA等によるハラスメント</td></tr> <tr> <td data-bbox="465 1209 831 1436">衝突への巻き込まれ</td></tr> </table>	IDPとの小競合い		流れ弾対処	移動間における盗難	SPLA等によるハラスメント	衝突への巻き込まれ
IDPとの小競合い							
流れ弾対処							
移動間における盗難							
SPLA等によるハラスメント							
衝突への巻き込まれ							

明日の活動命令 (Operations)

- 1 施設活動等実施に関する活動命令
(方針・指導要領) (Policy & Guidance)
- 2 視察・来隊予定 (Schedules of visitors)
- 3 隊長・副隊長・CSMの行動予定
(CO/DCO/CSM Schedules)

11月28日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

1 情勢報告参照

- 2 (1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNハウス地区及びUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、UNハウス地区西側外壁構築、弾薬庫内ヘスコ補修及びUNトンピン地区内退避壕構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2) ア 活動警備レベル（基準）

(ア) UNハウス地区

- a ハウス西側地区外柵沿い レベル [REDACTED]
- b ハウス南側地区弾薬庫地域 レベル [REDACTED]

(イ) UNTonpin地区 レベル [REDACTED]

(ウ) ジュバ市内

- a ジュバ空港 レベル2
- b Zone 2 (ハイアマラット) レベル [REDACTED]
- c Zone 4 (ハイシネマ) レベル [REDACTED]
- d Zone 5 (ジュバタウン) レベル [REDACTED]
- e Zone 9 (ハイムヌキ) レベル [REDACTED]

イ 宿营地警備 [REDACTED]

3 (1) 共 通

第11次要員への業務の引継ぎ及び物品管理検査受検

(2) E q P t (+) (施設器材小隊)

+4名/1 E P t

マラム運搬及びUNトンピン地区内退避壕構築

(3) 1 E P t (第1施設小隊)

ア 4名をE q P tに差出

イ P t (一)

UNトンピン地区内退避壕構築、状況により臨時工兵課タスクの実施

(4) 2 E P t (第2施設小隊)

UNハウス地区西側外壁構築

(5) 3 E P t (第3施設小隊)

UNハウス地区弾薬庫内ヘスコ補修

(6) S e c P t (警備小隊)

宿営地警備、同行警備及び

(7) H Q U (本部付隊)

宿営地維持・管理活動、UNハウス・トンピン地区内給水活動、同行整備、同行衛生及び

(8) M I S e c (情報班)

ジュバ市内における情報収集

(9) M P S e c (警務班)

重車両輸送支援及び

活動概要（UNトンピン地区）（1／8）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						#10	#11		#10	#11
①	施設	UNトンピン内退避壕構築	器材小隊	0800～ 1600	UNトンピン内	9		大型×2、散水車×1		
			1小隊			5	5			
②	その他	給水	補給班	0800～ 0900	トランジット	2		給水車×1		
③	その他	給水	補給班	0900～ 1200	ネパールFPU	2		給水車×1		
④		業務調整（人事）	隊本部 (S-1)	0830～ 1600	IDセクション	2		小型×1		
⑤		業務調整（連絡）	隊本部 (S-3)	0800～ 1600	UNトンピン内	4	2	小型×1		
⑥		業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0800～ 1200	工兵課	4	1	小型×1		
⑦		業者対応（施設器材）	隊本部 (S-4)	0830～ 1600	ウエストゲート	2		小型×1		
⑧		広報活動	隊本部 (広報)	0801～ 1600	UNトンピン内	1	1	小型×1		
⑨		車両操縦練成	隊本部 (S-3)	0800～ 1600	UNトンピン	1	1	小型×1		
⑩		武器等空輸端末地業務	隊本部 (S-4)	0900～ 1630	MOVCON	12	3	中型×1、大型×2 フォークリフト×2		
⑪		SS司令官、工兵課長表敬	隊本部 (S-1) (S-3)	0945～ 1600	UNトンピン内	3	3	ランクル×1		

凡例 UNタスク

活動概要（UNトンピン地区）（2／8）



広報活動



車両操縦訓練

活動概要（UNハウス地区）（3／8）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						#10	#11		#10	#11
①	施設	UNハウス地区西側外壁構築	2小隊	0800～ 1630	UNハウス西側	10	6	高機×3、大型×3		
②		UNハウス地区 弾薬庫内ヘスコ補修	3小隊	0801～ 1630	弾薬庫	5	5	高機×2、大型×2 特大型×1		
③	その他	業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0802～ 1300	工兵課	2	2	高機×1		
④		広報活動	隊本部 (広報)	1300～ 1600	UNハウス	3	2	高機×1		
⑤		給 水	補給班	0803～ 1200	UNハウス	2	2	給水車×1、高機×1		

活動概要（UNハウス地区）（4／8）



広報活動

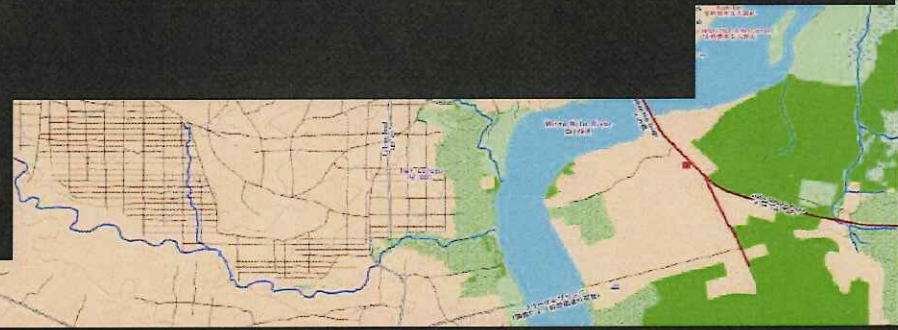
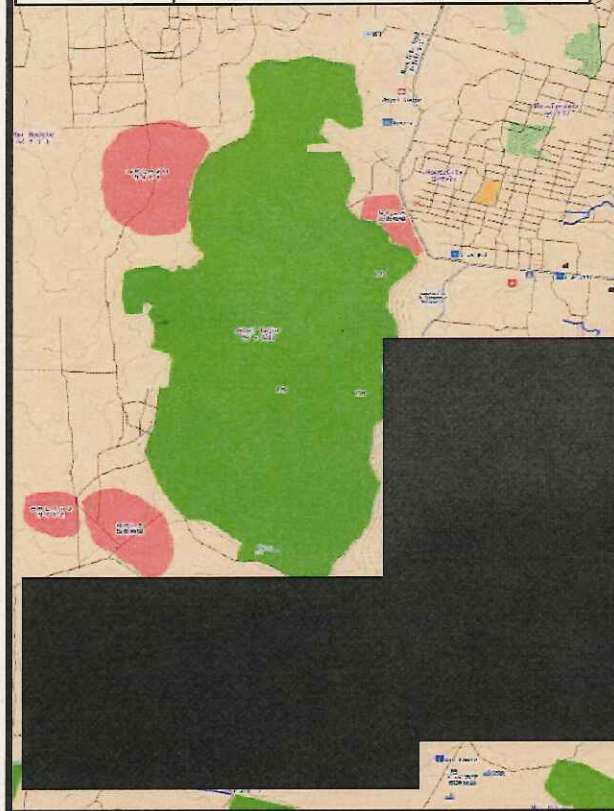


活動概要（ジュバ市内）（5／8）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員		車両	警備・警護	
						#10	#11		#10	#11
①	施設	マラム運搬	器材小隊 1小隊 衛生班 整備班 情報班	0900～ 1600	ルリ橋北側	6	6	高機×1、特大型×4		
②	情報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内					
③		情報収集	情報班		ジュバ市内					
④	その他	重車両輸送支援	警務班	0740～ 1500	ビルファムロード	2		高機×1		
⑤		現地調達・市場調査	隊本部 (S-4)	0900～ 1200	ジュバ市内	2	3	高機×1		
⑥		空港撮影、報道対応	隊本部 (広報)	0805～ 1600	ジュバ空港 情報放送省	3	2	高機×1		
⑦		孤児院慰問	隊本部 (S-1)	0900～ 1200	CCC孤児院	3	1	高機×1		

活動概要（ジュバ市内）（6／8）

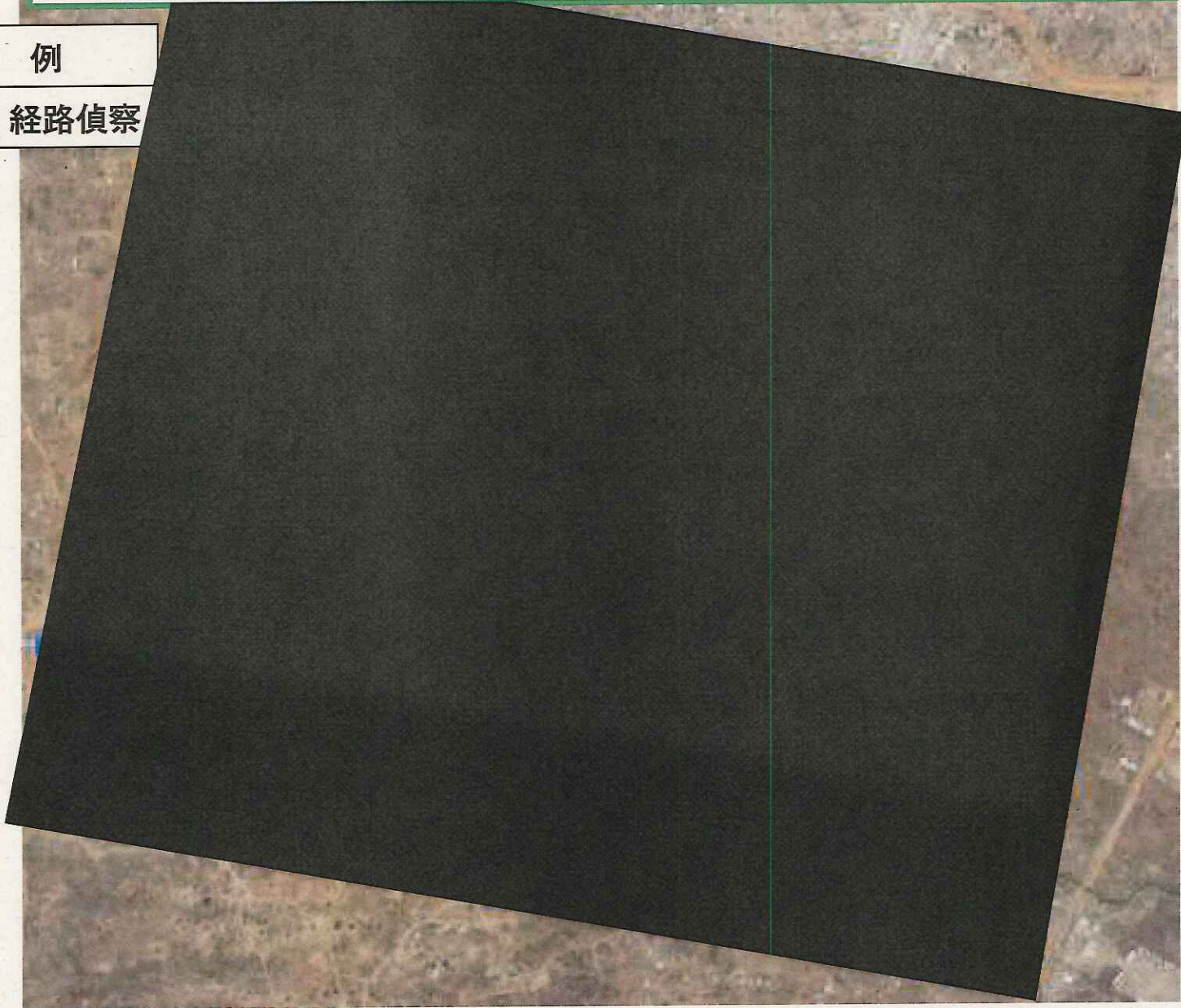
①	マラム運搬
②	経路偵察
③	情報収集
④	現地調達（会計）
⑤	孤児院慰問
⑥	予備経路



経路偵察（UNハウス）（7／8）

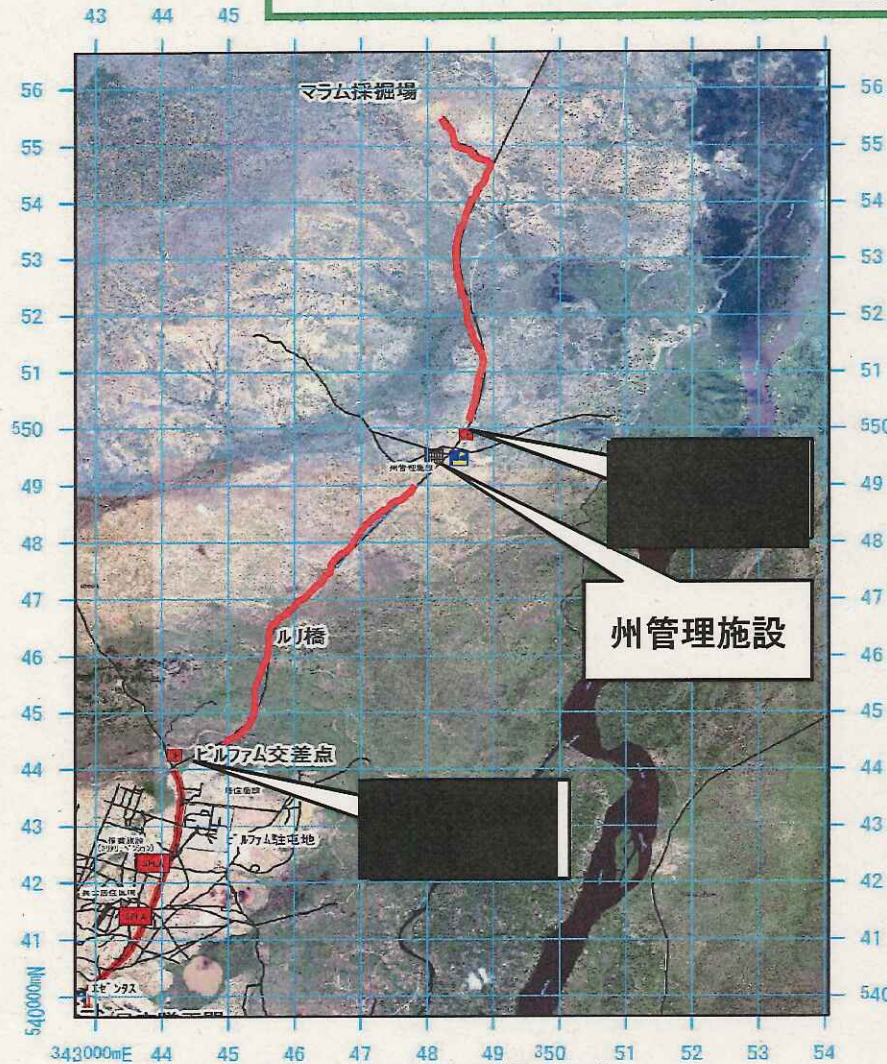
凡 例

— 経路偵察



1:80,000

マラム運搬 (8 / 8)



11月28日(月) 運搬編成

項目	内容
実施の概要	○出発調整 ・0830
	○出発準備 ・0910
	○出発 ・0915
	・0920 ウェストゲート出発
	・0930
	・1010
	・1100 マラム採取場着
	・1140 マラム採取場発
	・1320 トンピン着(卸下)

視察・来隊予定 (Schedules of visitors)

時 間	視察・来隊者	備 考
	後方補給部長 阪田 1 佐 後方補給部需品班長 [REDACTED] 後方補給部装備幹部 [REDACTED]	11月29日まで滞在

10次隊長及び11次隊長の行動予定

別紙第10-1

	AM	PM	課業外
10次 隊長			
11次 隊長			

副隊長及び最先任上級曹長の行動予定

別紙第10-2

	AM	PM	課業外
副隊長			
最先任 上級 曹長			

3 じ後の予定

別紙第1.1「全般活動予定」

11月 月間業務予定

		11月																													
月 日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
全般		高官対応 メダルパレード予行 隊朝礼曹士朝礼 メダルパレード 500タスク達成記念隊朝礼 先陸曹等会同 隊朝礼曹士朝礼 帰国に関する前進命令下達作戦指導(先発) 10次先発帰国 11次先発帰国 物品管理検査 帰国に関する前進命令下達作戦指導(1波) 10次1波帰国 11次1波出国																													
施設活動		VTC VTC VTC VTC 給水活動退避壕構築トシピン地区内排水整備・道路整備 UNハウス地区西側外壁構築 UNハウス地区弾薬庫増設 #1POCサイト南側排水溝構築 UNハウス地区弾薬庫内ヘスコ補修 マラム運搬 MSR事前偵察																													
教育訓練		帰国に関する前進命令下達作戦指導																													
連絡調整		[黒塗り]																													
情報・保安		国連休暇前保全教育 10次帰国前教育 保全会同(内1日)月例点検 11次盾隊教育 保全巡回指導(内1日)																													
人事・総務・厚生		孤児院慰問 メダルパレード予行メダルパレード 孤児院慰問 UN日当請求 各国への離任挨拶 各国との懇親会																													
広報		国連休暇前報道対応教育 UNMISS取材(孤児院) UNMISS取材(孤児院) F B及び各機関紙への投稿 UNMISS取材(孤児院) 家族通信最終号発簡																													
後方・会計・輸送		#1集荷換金 ウガンダ出張追送品受領 ウガンダ出張追送品受領 毎月点検換金 武器・弾薬引継点検換金 ウガンダ出張																													
警務・法務		国連休暇前教育																													
衛生・医務		国連休暇前教育衛生教育(メアキン内服) 衛生教育(メアキン内服) 帰国健康診断(先発)衛生教育(メアキン内服) 衛生教育(メアキン内服)																													
その他(表敬等)																															

12月 月間業務予定

		12月																																		
月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
曜		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
全般		10次1波帰国		隊朝礼		全般活動計画示達				指揮転移式		10次要員2波帰国				隊朝礼										隊朝礼										
		11次1波着隊		TCC謝恩会						豪軍LO表彰式		11次2波出国・着隊																インダクショントレーニング								
		11次1波着隊教育		#2部外講話 5カ国意見交換会						VTC 引継ぎ点検		11次2波着隊教育																								
		VTC UNボランティアデー		PKO事務局 参事官等来訪						帰国に関する前進命令下達 作戦指導(2波)																										
施設活動	UN トンピン																	給水活動																		
																		退避壕構築																		
																		トンピン地区内排水整備・道路整備																		
	UN ハウス	UNハウス地区弾薬庫内ヘスコ補修																					UNハウス地区西側外壁構築													
																	#1 POCサイト南側排水溝構築																			
UN 施設外																	マラム運搬																			
	MSR事前偵察																MSR整備																			
教育訓練		#2部外講話 5カ国意見交換会								全般活動計画示達				11次2波着隊教育				練成訓練				大使館とのTTX				射撃(O-1) 練成訓練				インダクショントレーニング 練成訓練・射撃(O-2)						
連絡調整																																				
情報・保全		11次1波着隊教育		ウガンダ出張						交代検査 引継ぎ検査・保全検査		10次帰国前教育		11次2波着隊教育																						
人事・総務・厚生		孤児院慰問		TCC謝恩会						引継ぎ点検		指揮転移式																		各部隊長挨拶						
												豪軍LO表彰式																								
												万願成就式																								
広報		孤児院慰問UN取材																																		
後方・会計・輸送		ウガンダ出張(会計)								#2集荷																										
警務・法務																																				
衛生・医務		衛生教育(メフキン内服)								衛生教育(メフキン内服)								衛生教育(メフキン内服)								衛生教育(メフキン内服)										
その他(表敬等)		韓国工兵隊長来隊																																		

4 情報共有事項

別紙第12「連携案件等情報」

連携案件等情報

1 形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現 状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA-PKO 連携案件	職業訓練 「#4さくらPJ」	MTC	実施困難	MTC JICA	・現在のUNMISSの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難 ・11/7 MTC担当と現在のMTCの状況と11次隊へ引き継ぐためのニーズ確認等を実施 ・11/23 担当者引継ぎ完了 ・12/14 隊長による次長表敬予定	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	JICA 大日本土木	CRFにおいて実施の可否を検討中	CRF JICA		
2	国際機関等連携案件	UNOPS水質調査支援 (日本補正予算によるボル河川港建設PJに伴う水質調査の依頼)	UNOPS (大使館)	工兵課から タスク発出済み	UNOPS (※) (大使館)	・ボル河川港建設事業は現在着工済だが、引き続き、水質調査支援等の連携のため、UNPPS側より工事の進捗状況について情報提供をする予定	

※ UN Office for Project Services : 国連プロジェクト・サービス機関)

凡 例 ◎ : タスク化成立 ○ : 自隊による実施 × : 実行の可能性低 ー : 調整中

2 終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概 要	実施時期
	ODA-PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5 参考資料

気 象 (週間) ジュバ/Weekly Weather JUBA

日(曜)		27日(日)	28日(月)	29日(火)	30日(水)	12月1日(木)
主要な活動				#10(1波)帰国	[]・会計幹部ウガンダ出張	
				UNの基盤整備		
Juba	天 気					
	気温(℃)	38 / 24	39 / 24	40 / 23	37 / 23	39 / 24
	降水確率	0%	0%	0%	0%	0%
	雨 量	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm
	評 価					
Kampala	天 気					
	気温(℃)	27 / 15	30 / 16	31 / 15	30 / 15	33 / 14
	降水確率	90%	70%	90%	90%	80%
	雨 量	8mm	1mm	9mm	2mm	6mm

凡例 影響度:

問題なし

<

一部制限

<

実施困難

資料源: WORLD WEATHER ONLINE

評 価
Assessment

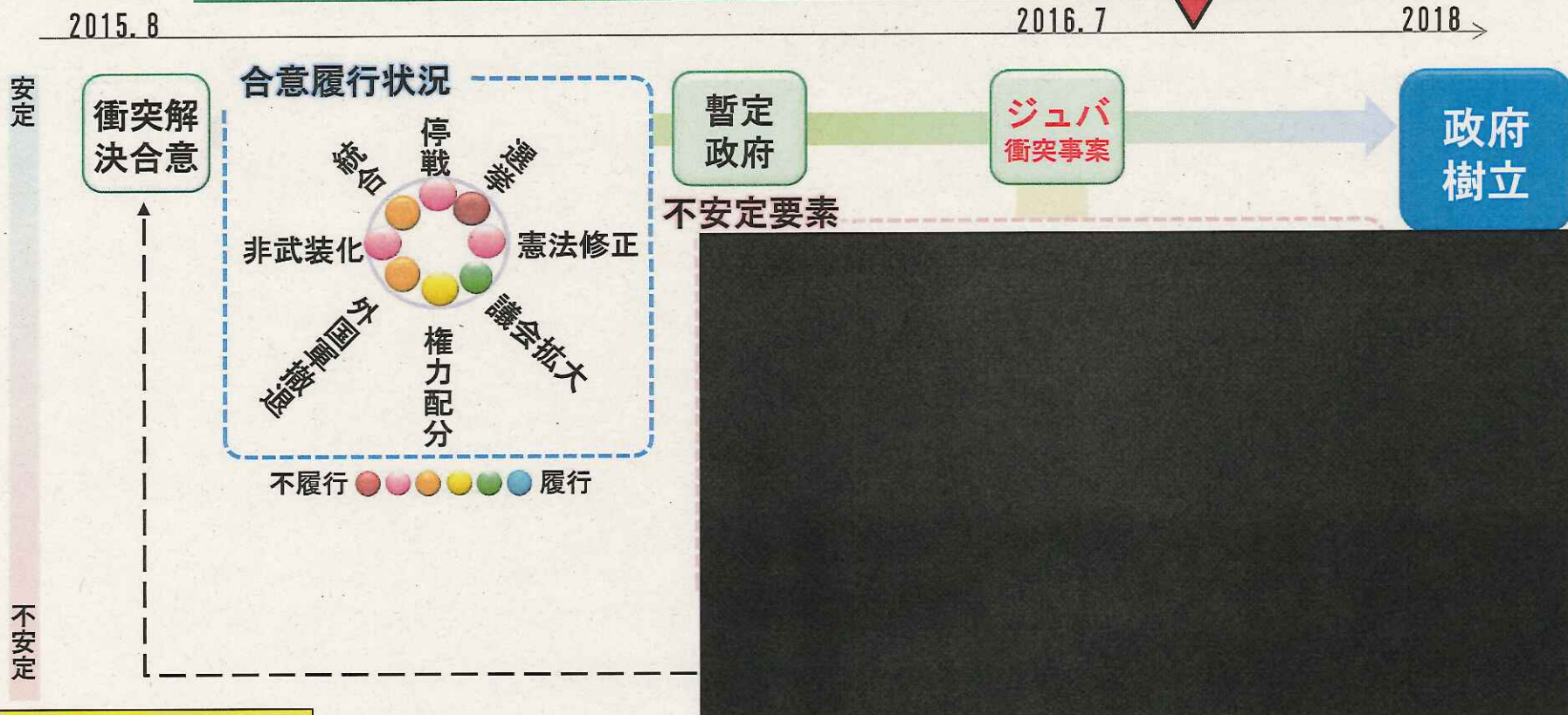
- 1 ジュバは、期間を通じて天候が安定するものの、突然の降雨等には注意が必要
- 2 ウガンダは、期間を通じて降水確率が高く降雨等に注意が必要

【凡 例】
赤 字：強 調

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement

区 分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価
全 般	8 11 16	5 12	4 13 28 21 30	15 16 19 28	3 10 15 17 22 29	12 15	
停 戦	11 停戦合意		23 武力抵抗宣言 散発的な戦闘	17 国連停戦履行呼び掛け			
外国軍撤退		ウガンダ軍展開 (自国民保護)					
ジュバ非武装化(RPF含む)	ジュバ市内における政府軍と反主流派の衝突	29 外国軍受入拒否 1 外国軍受入容認	5 13 16 UNMISSマンドートに対する反発 4 RPF承認 17 来年統合	29 RPFにJVM前向 27 宿营地承認 28 Jアラ派等離反	18 JMEC RPF促進 2 ケニア撤退表明 8 近隣国RPF受入 事務総長報告 (90日報告)		
統 合	AU総会		UNMISSマンドート 暫定政府の	5 タン派野営地設定 18 23 Jアラ派再統合 武器禁輸 州数の増加を発表 必要性主張	安保理協議 安保理制裁協議 JMEC全体会合 安保理協議		
議会の拡大		4 議長選出特別議会	15~ 暫定議会				
権力配分(地方分権)	閣僚の一方的な罷免 反主流派内部分裂	25 新VP任命 3 閣僚交代	共同コミュニケーション 17 2年前倒	大統領との和平合意推進表明	3 州数の増加見送り		
選 挙							
憲法修正							
評 価	衝突解決合意については、キール政権及びタバン第1副大統領への非難を継続するマシャル氏とタバン第1副大統領との衝突解決合意を推し進めたいキール大統領との間での対立が継続しており、進展は低調な状況であるとともに、衝突解決合意履行に関して、主導的な役割を担っていたケニアが撤退を開始したことから、地域保護部隊の展開を含めて、今後の協議には更に時間を要する可能性 また、安保理においては具体的な制裁に関する決議は採択されていないものの国際的な圧力が今後強まる可能性もあり、ハラスメントやデモ等に関連する政府側の動向には注視が必要						

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects



我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴う **UN活動の停止**
- 武力衝突・[]に伴う、**活動の制限**
- []による**負傷者発生**
- ジュバ市内での大量の **IDPの発生**
- チェックポイント警戒強化(私の移動制限)
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴う **UNマンドートの変更**
- 少数派による **新体制批判デモ**
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- 政府軍と地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

UNMISS部隊配置状況 (2016年11月27日現在)

取扱注意

63

ガーナ
 歩兵大隊
 (本部ベンティウ)

ケニア
 歩兵大隊
 (本部ワウ)

中国
 歩兵大隊
 (本部ジュバ)
 工兵部隊 ()
 医療部隊 () (本部ワウ)

エチオピア
 歩兵大隊 I
 (本部ジュバ)
 歩兵大隊 II
 (本部ボル)

ルワンダ
 歩兵大隊 I
 (本部ジュバ)
 歩兵大隊 II
 (本部マラカル)
 航空部隊 ()
 (本部ジュバ)

モンゴル
 歩兵大隊
 (本部ベンティウ)

イギリス
 工兵部隊 () (ジュバ)
 工兵部隊 () (マラカル)

日本
 施設部隊
 約350名
 (本部ジュバ)

カンボジア
 憲兵隊: (本部ジュバ)
 医療部隊: ()

セクターHQ
 ウエスト(ワウ)

ネパール
 歩兵大隊 I
 (本部ルンベク)
 歩兵大隊 II
 (850名:本部ジュバ)
 (ワウ(到着)
 ※11月24日着予定

セクターHQ
 サウス(ジュバ)

セクターHQノース
 (マラカル)

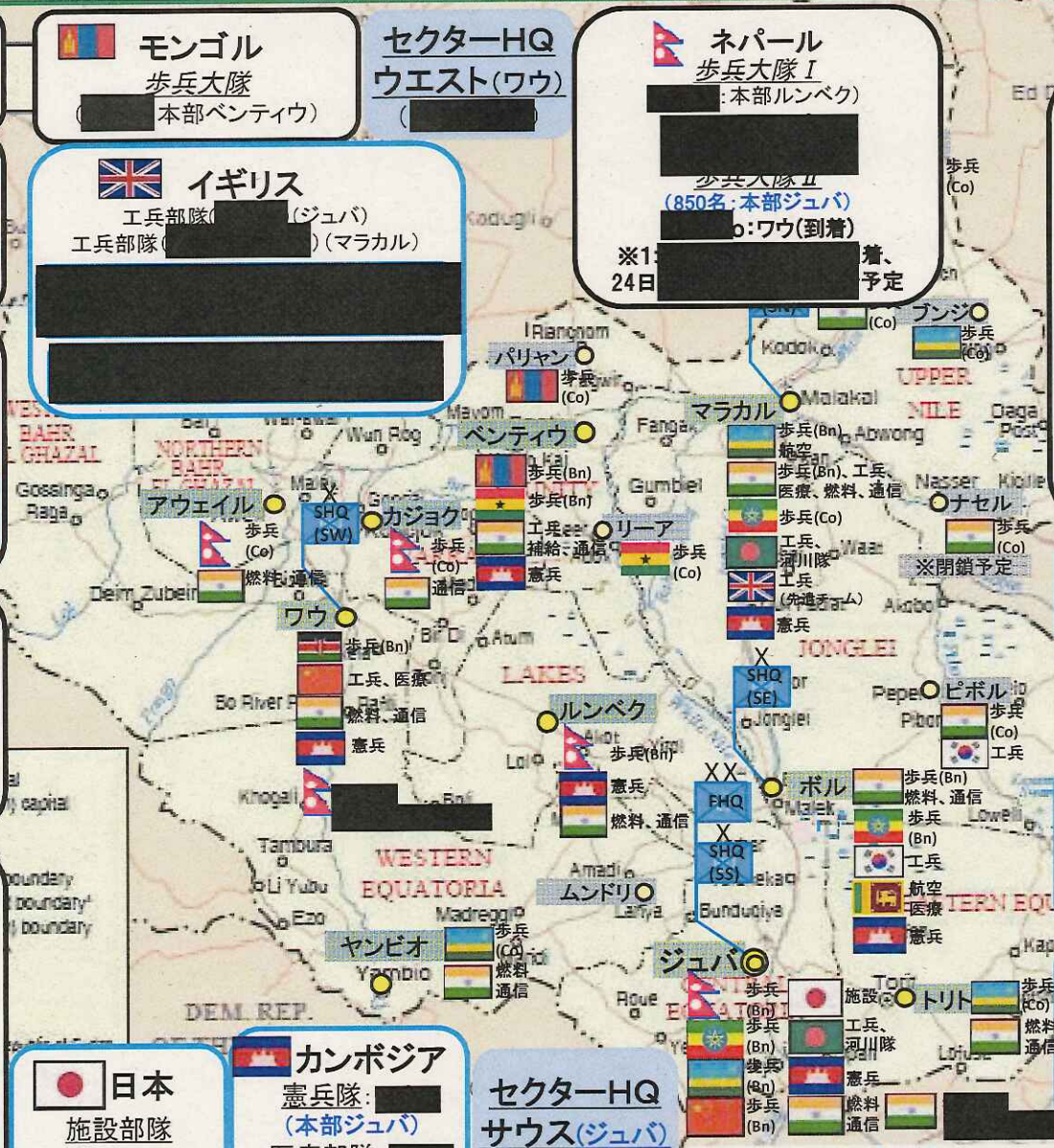
インド
 歩兵大隊 I
 (本部マラカル)
 歩兵大隊 II
 (本部ボル)
 医療部隊 (本部マラカル)
 工兵部隊 (本部マラカル)
 通信部隊 (本部ジュバ)
 燃料部隊 (本部ジュバ)

韓国
 工兵部隊
 (本部ボル)

セクターHQイースト
 (ボル)

スリランカ
 医療部隊 (本部ボル)
 航空部隊 (本部ボル)

バングラデシュ
 工兵部隊 (本部ジュバ)
 河川部隊 (本部ジュバ)



□ = 歩兵部隊 (展開済) □ = 後方支援部隊 □ = 増派部隊 (今後展開予定)

セクターサウス内部状況（2016年11月27日現在）

64



エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
(本部:本部ジュバ)

ネパール
歩兵大隊Ⅱ
(本部:本部ジュバ)

中国
歩兵大隊
(本部:本部ジュバ)

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
(本部:本部ジュバ)

航空部隊
(本部:本部ジュバ)

カンボジア
憲兵隊:(本部:本部ジュバ)
医療部隊:(本部:本部ジュバ)

日本
施設部隊
(約350名:本部ジュバ)

バングラデシュ
施設部隊:(本部:本部ジュバ)
河川部隊:(本部:本部ジュバ)

インド
歩兵大隊Ⅱ

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ(本部:本部ボル)

指揮:
(本部:本部ジュバ)

64
=増派部隊
=後方支援部隊

人員現況（第10次要員）

65

28.11.27
1500c

場 所	部 隊	総 員	幹部 (O)	准曹 (WS)	陸士 (P)	現在員	事故	理由
ジュバ	隊本部							ウガンダ出張2名 (会計幹部 通訳班長)
	付隊本部							
	隊本部班							
	整備班							
	補給班							
	通信班							
	衛生班							
	営繕班							
	施設器材小隊							
	第1施設小隊							
	第2施設小隊							
	第3施設小隊							
	警備小隊							
	情報班							
	警護班							
	派遣警務班							
合 計		295	64	219	12	293	2	

凡例 青字：不在者

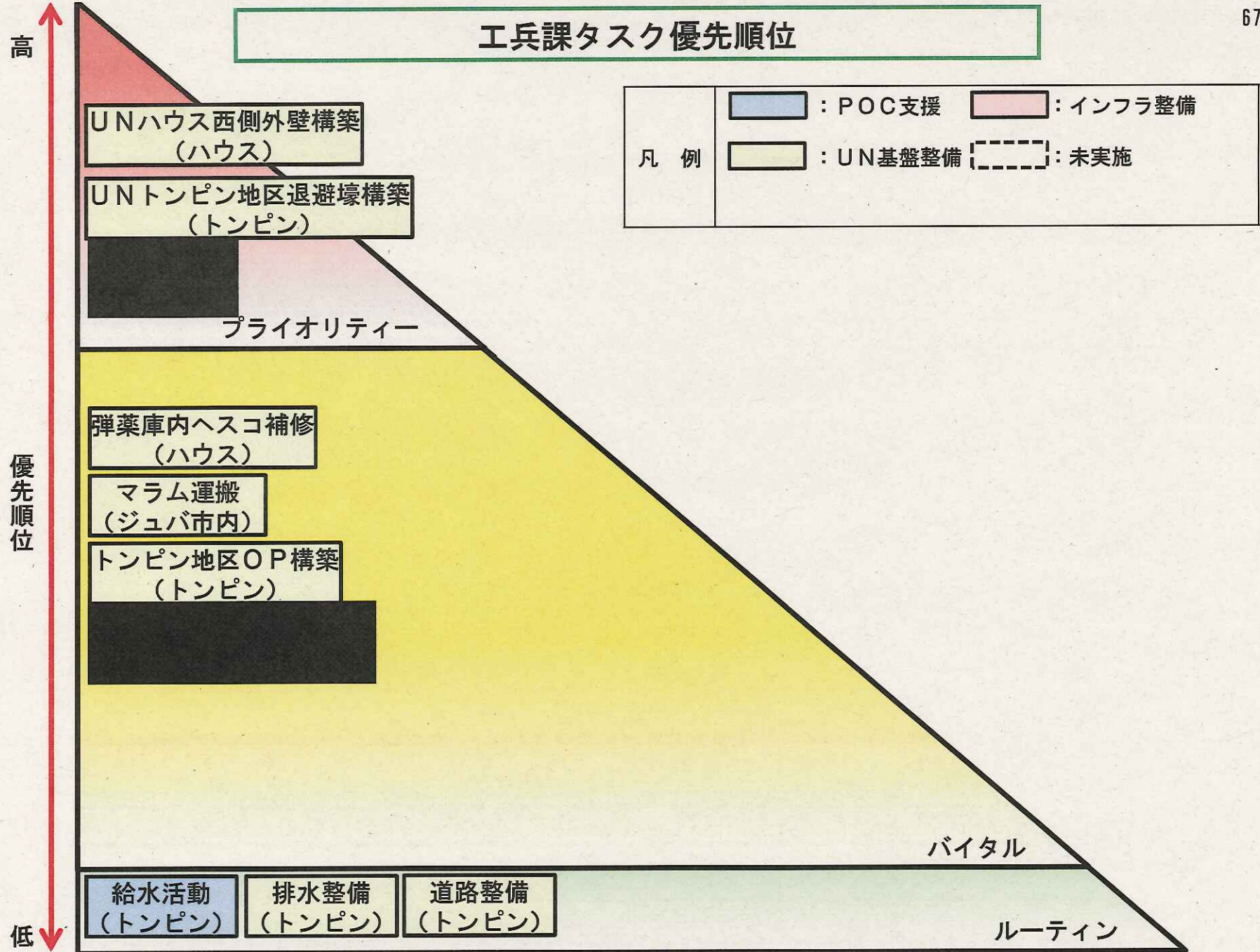
人員現況（第 1 1 次要員）

66

28. 11. 27
1 8 0 0 c

場 所	部 隊		総 員	内 訳			現在員	事故	理由
				幹部 (O)	准曹 (WS)	陸士 (P)			
ジュバ	隊本部								
	本部付隊	付隊本部							
		隊本部班							
		整備班							
		補給班							
		通信班							
		衛生班							
		営繕班							
		施設器材小隊							
	第1施設小隊								
	第2施設小隊								
	第3施設小隊								
	警備小隊								
	情報班								
	警護班								
派遣警務班									
合 計			129	46	82	1	129		

工兵課タスク優先順位



2016年11月27日タスク等現況(1/2)

68

凡 例 : POC支援 : インフラ整備 : UN基盤整備 : 国際機関等連携案件

1 実施中

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
487	UN 基盤整備	1	UNハウス 西側外壁構築	UNハウス	ミフラム構築	実施 計画				
492	UN 基盤整備	2	UNトンピン地区 退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	実施 計画				
515	UN 基盤整備	3	弾薬庫内ヘスコ補修	UNハウス	ヘスコ補修	実施 計画				
500	UN 基盤整備	4	マラム運搬	ジュバ市内	マラム運搬	本日 累計				
476	UN 基盤整備	5	トンピン地区OP構築	UNトンピン	ヘスコ構築 屋根構築	実施 計画				工兵課の指示 待ち
325	POC 支援	7	給水活動	UNトンピン	給 水					
471	UN 基盤整備	8	排水整備	UNトンピン	排 水					
459	UN 基盤整備	9	道路整備	UNトンピン	道路整備					

2016年11月27日タスク等現況(2/2)

69

凡 例	 : UN基盤整備	 : インフラ整備
-----	---	---

2 未実施

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
456	UN 基盤整備			UNトンピン						
513	インフラ 整備									

タスク累計受領数(完了数)	タスク実施数(第10次要員)	
522 (508)	プライオリティー	16
	バイタル	80
	ルーティン	3
	計	99
		完了 89
		実施中 8
		未実施 2

地域脅威レベル評価（2016年11月27日現在）

70

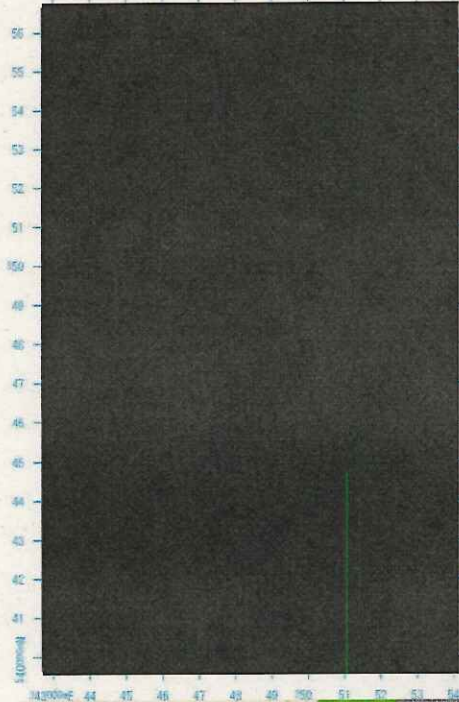
2016.11.25

1:80,000

マラム採掘場

#10UNMISS S-2
28.10.26

1 レベル	2 レベル	3 レベル	4 レベル	5 レベル	6 レベル
----------	----------	----------	----------	----------	----------



43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54

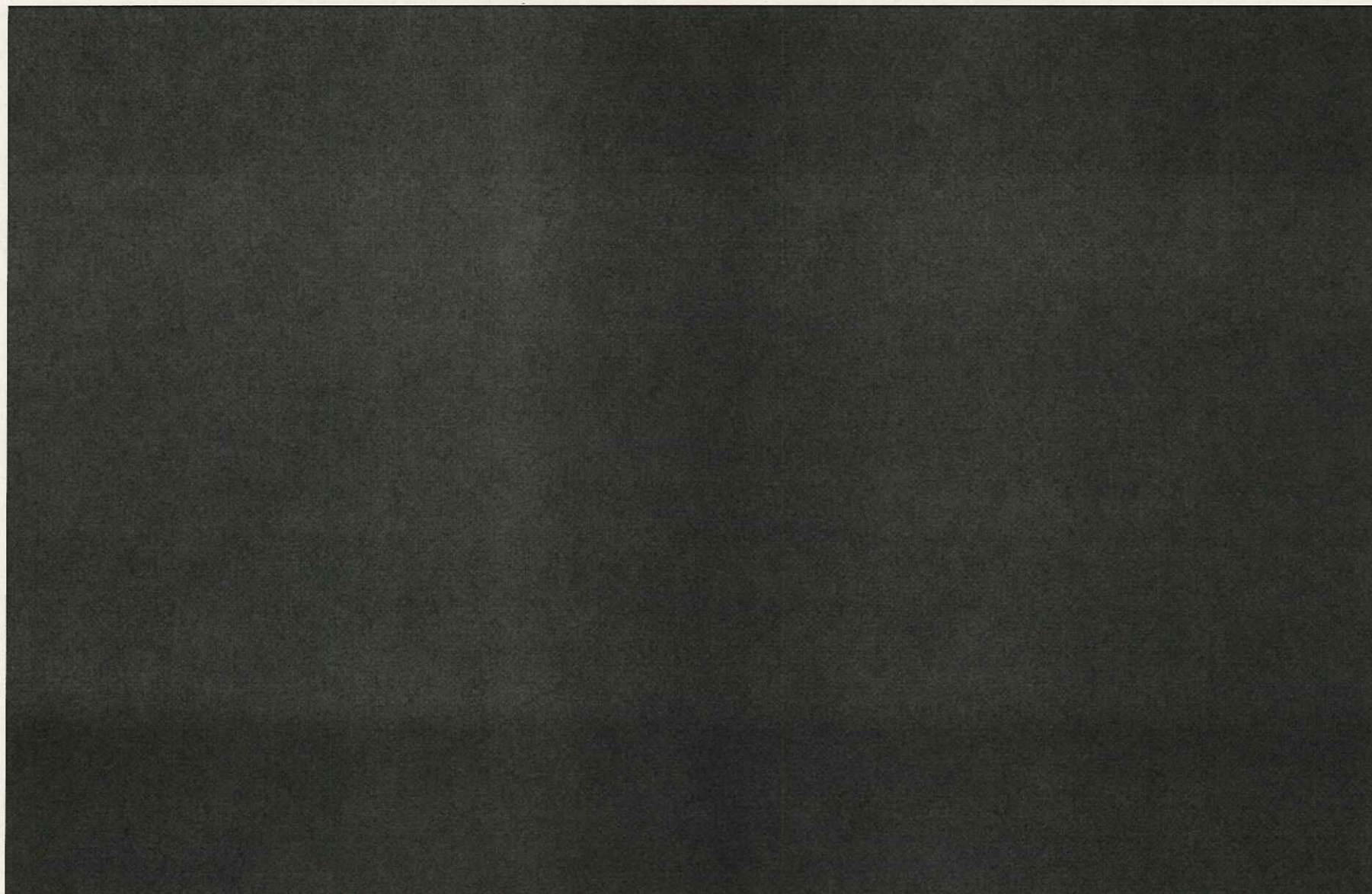
41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54



隊員服装・装備等基準

71

区 分	警備小隊	経路偵察に任ずる部隊	活動部隊 (警備、経路偵察除く。)
備考			



活動写真

自隊計画（宿営地内）



車両操縦練成
（広報班及び警備小隊）

自隊計画（UNハウス）



車両操縦練成
（広報班及び警備小隊）

自隊計画（UNハウス）



車両操縦練成
（広報班及び警備小隊）

自隊計画（UNハウス）



車両操縦練成
（広報班及び警備小隊）